

# さんけん新聞

発行  
NPO法人  
三段峡〜太田川  
流域研究会  
(代表・本宮炎)

〒731-3813  
広島県山県郡  
安芸太田町  
柴木 1734  
☎090・  
3421・3046

## 一口メモ

### ▼秋の使者

全国的には四十度を超える気温が記録された八月だったが、三段峡では盆前の豪雨の後は、酷暑の夏は少し落ち着いた。イワタバコが可愛い花を咲かせ、網目のドレスをまとったようなキノコの女王ともいわれる

ウスキキヌガサタケも姿を見せた。秋の草花も咲き始めた。九月も暑い日が続くとの予報だが、動植物には秋を告げる使者になってほしい。

## 三段峡 川の学校

### 生き物や自然環境大切に

#### NTTドコモ中国 生物多様性保全活動で開く

地域と連携した生物多様性増進活動を進めているNTTドコモ中国支社が開催する「三段峡 川の学校」が八月二日、関連会社の社員家族二十七人とスタッフとして社員九人が参加して開かれ、三段峡の自然環境を学んだ。

うと思った」などの感想が聞かれた。

さんけんは二〇二三年、ドコモ市民活動団体助成事業に採択された。二四年、若手社員の社会貢献活動「プロボノリーグ」にNTT社員が参加したのがきっかけになって、同支社とさんけんは今年、生物多様性に関する業務で提携し、広島での環境保全活動に取り組んでいる。



川の生き物などを観察する子供達

「川の学校」は生物多様性を自分達で知ろうと、三段峡での体験が企画された。魚の調査やアマゴのつかみ取りをしながら、三段峡の特徴である人の手が入っていない本来の豊かな川に触れた。

アクアスコープで小魚を観察したり、網ですくったりした参加者からは「体験も多くとっても楽しかった。生き物や自然を大切にしよう

最終年の三年目となる同助成金の採択が八月にあり、総額一〇万円が交付された。三段峡での環境保全に携わるリーダーの育成に活用する。

## 猛暑 DROPSツアー人気

### ガイドの解説に丁寧なお礼

七月、八月のDROPSツアーには延べ十五組、三十六人が参加した。内訳はシャワークライミンググループ、川の生き物調査体験五組、ミュージアムデビューツアー一組。

沢を登り、淵を泳いで姉妹滝へ行くコースやシュノーケリングで魚類を観察するプログラムを体験した参加者からは「安全に配慮された」と好評だった。



姉妹滝でしぶきを楽しむツアー参加者

## 秘境・奥三段峡を楽しむ

### 広大さんけん部の二人が探索

広大さんけん部の大本武部長と一年生で新入部員の石塚朋君が八月三十日、本宮炎理事長の案内で奥三段峡を探索し、シャワークライミングを楽しんだ。

横川口の上流にある田代口から奥三段峡へ入り、蜘蛛淵の滝を迂回して、蛇淵から上流二〇〇メートルを往復した。崖を上ったり、淵に飛び込めば、と本宮理事長は話す。

## 探勝路歩いて歴史見つけたよ

### 子どもエコツアー 親子三十人が参加

ひろしま地球環境フォーラムが主催する子どもエコツアー「三段峡の川と歴史を学ぶツアー」が八月二十三日、親子十四組三十人が参加して開かれた。

同フォーラムとさんけん

わせたメニューにした。

## 柴木の美観 「安芸の石工」の技術力

られた写真だとある。大切に持ち帰った彼の故郷への思いが伝わる。

左端の柴木河内神社には、白い道の奥には羽田ホテルが見える。茅葺屋根の民家が点在し、稲を天日干しする「高はで」が確認できる。

太田川流域の地形は峻険で、棚田の美観が至る所にある。石積み技術はほとんど失われたが、上殿や筒賀を中心に「安芸の石工」と呼ばれた職人達は、全国へ赴いて仕事をしていた。その習慣からか当時は、海外への移民が多かったと

される。日露戦争に出征した筒賀出身の私の曾祖父は帰還後、移民として夫婦でアメリカへ渡った。

来月、三段峡は名勝指定百周年を迎える。探勝路には当時の石積みが残る。高い技術力があつたから出来た道である。(松尾俊孝)

## セピア写真帖

(34)

三段峡入口の柴木集落全景である。一九八六年に発行された「とごうち写真で見えるあゆみ」に掲載されている。解説によると日中戦争最中の三八年の秋祭りに撮影され、戦地の兵士へ送



## 三段峡名勝指定 100 周年 三段峡清掃の会



10月19日(日)10時~15時  
集合場所:柴木ダム駐車場  
参加費:500円(保険、弁当)  
★100周年記念品をプレゼント  
持参:長靴、タオル、軍手、飲み物  
申し込み締め切り:10月14日(火)

■申し込み・問い合わせ  
申し込みフォームまたは  
☎090-6078-0835(本宮)

